



砂の芸術



活動内容	バケツやスコップを使って砂を固め、イメージする形を作る活動です。漂流した木や海藻などの自然物を使って装飾することもできます。大きい作品を作りたい場合は、より大きな穴あきバケツやヘラなど道具を使い、作品を作ることができます。
------	---

対象	必要時間	活動人数	活動形態
制限なし	2～3時間	グループ数制限あり	(小)最大36グループ (大)最大24グループ
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性: ◎ 創意工夫: ◎ 主体・計画: ○ 協調・協働: ◎ 粘り強さ: ○ 人間関係: ○
海浜	安全管理	3月～11月	

	利用団体		「玄海の家」職員	
	活動の流れ	事前	【打合】 集合場所、参加人数、活動内容、着替える場所、海浜出入口の確認 【準備】着替えを済ませる	【打合】 【準備】活動用具をグループ数分準備
活動		【集合】運動広場等 ①活動の説明、海浜へ移動(15分) ②海浜清掃(10分) ③創作活動(2時間程度) ④鑑賞(20分)	【指導】海浜活動上の指導を行う ・活動説明 ・物品貸出 ・諸注意 ・海浜清掃 ※清掃後の海浜清掃用ネットを回収	
事後		【片付】(15分) ①用具の洗浄 ・野外トイレ前の水道および海浜出入口の水道 ②物品をもとの場所に返却し、道具の点検を玄海の職員と一緒に確認 ③着替えを済ませる 【解散】研修生は引率者の指示に従う	【片付】貸出物品の確認 ・洗浄しているか、物品の数が合っているかを団体代表者と一緒に確認	

引率者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾いと創作活動時の海浜での見回り ・シャワーを使用することができないので研修生が海に入らないよう巡視 ・海水をくみに行くときは、足首までしか海に入らないように指導 ・活動終了後、玄海の家と職員と一緒に道具の点検を行う
活動の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜に出る場合は、必ず海浜出入口を使用する(砂を館内にあげないため) ・活動場所の事前踏査を実施 ・借用物の破損や紛失に注意 ・熱中症防止のため、帽子を着用し、水分補給をこまめに実施 ・潮の状況は「潮Mie Yell」というサイトを参考 ・ごみは(燃えるごみ/缶・金属類/ガラス・ビン/陶器)の4つに分ける ・生き物、中身の入った容器、注射器(針のついたもの)などの危険物には触らない
「玄海の家」で準備できるもの	<ul style="list-style-type: none"> 【各グループ】海浜清掃用ネット(人数に応じた数) 【小】小バケツ(1)、シャベル(1)、スコップ(2) 【大】穴あき大バケツ(1)、小バケツ(1)シャベル(1)、スコップ(2)、ヘラ(2)
利用団体で準備するもの	水筒、帽子、ビーチサンダル、タオル、着替え、救急医薬品